

目次

経営方針および統合マネジメントシステム方針	2
トップメッセージ	3
TOPIC 排水終末処理施設の本格稼働開始	5
環境に配慮した製造プロセス [フェロニッケル製造工程]	7
環境に貢献するサービス [廃棄物リサイクル事業]	10
環境負荷の少ないエコ商品 [循環型社会に貢献するスラグ製品]	11
大太平洋エネルギーセンターの電力負荷調整の取り組み	17
統合マネジメントシステム (IMS) の構築	19
IMS 目標と達成状況	21
環境マネジメント	23
地球温暖化抑制および省エネルギーの取り組み	26
大気汚染防止のための取り組み	27
化学物質の適正管理	28
水質汚濁防止のための取り組み	29
循環型社会形成に向けた取り組み	30
環境コミュニケーション	31
品質管理の取り組み	33
労働安全衛生・防災に対する取り組み	35
第三者意見	39
第三者意見を受けて / 会社概要	40
大太平洋金属の環境活動の歩み	41
ガイドライン対照表	42

環境報告書 2014 の編集にあたって

編集方針

本報告書は、大太平洋金属株式会社の事業活動とそこから生じる環境負荷とその低減対策、品質管理および労働安全衛生・防災の取り組みについて、ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目標としています。

報告対象範囲

大太平洋金属株式会社 (国内事業所)

※活動内容には、一部グループ会社を含みます。

報告期間

2013 年度 (2013 年 4 月 1 日～ 2014 年 3 月 31 日)

※活動内容については、一部 2012 年度以前の内容や 2014 年度以降の予定を含みます。

発行月 2014 年 11 月

参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン (2012 年版)」

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第 4 版」

公開媒体

冊子

当社 Web サイト

[URL]

<http://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>

※冊子版と Web 掲載 PDF 版の報告範囲は同じです。

免責事項

本報告書に掲載した内容は、過去の事実だけでなく、記述時点で入手できた情報に基づく予定や見通しを含んでいます。そのため、将来の活動内容や結果が掲載内容と異なったものとなる可能性があることをご了承ください。

大太平洋金属は 持続可能な社会の実現に向け 技術力と社員力で環境問題の解決に貢献します

大太平洋金属株式会社 経営方針

1. 当社グループ全体の経営戦略を一体化して、グループ各社のシナジー効果を最大限に発揮すること。
2. 世界に誇る製錬技術の開発と品質向上に全力を傾注し、経営の効率化と競争力で世界有数の基盤を確立すること。
3. コンプライアンスを推進すること。
4. 公正・透明・自由な競争を通して、適正な利益を確保すること。
5. かけがえのない地球を守るため、あらゆる環境問題に積極的に取り組むこと。
6. 社員の個性を伸ばし創造性を十分に発揮させるとともに、物心両面のゆとりと豊かさを追求し、生きがいのある職場を実現すること。
7. 広く社会との交流を進め公正な企業情報を積極的に開示すること。

2013年5月に三陸復興国立公園に指定された種差海岸

大太平洋金属株式会社 統合マネジメントシステム方針

【基本理念】

私たちは、環境との調和に配慮したフェロニッケル及びスラグ製品の生産を通じ、地域社会への安心と、お客様への信頼・満足を提供し、当社で働く全ての人にとって安全で快適な職場を実現するため、品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムを統合した活動方針をここに定め、全てのステークホルダーの信頼に応えられるよう全社一丸となって取り組んでまいります。

【統合マネジメントシステム方針】

1. 創意工夫と技術力を生かし、お客様のニーズに応える質の高い製品を提供します。
2. 省エネルギー、省資源、リサイクルに努め、環境負荷の低減及び、汚染の予防に努めます。
3. 労働災害ゼロの達成に向け、リスク管理の徹底と明るい快適な職場をつくりまします。
4. 国内や海外の関係する法律、規制及び、当社が同意する要求事項を順守します。
5. 統合マネジメントシステムの重要性を、当社のために働く全ての人々に認識してもらえよう、コミュニケーションの推進、教育訓練を推進します。

この方針は、当社の全社員及び、協会社社員へ周知するとともに、広く公表し方針の実現に努めます。また、この方針に基づく目的・目標を定め、マネジメントシステムの有効性向上のために継続的な改善を行います。

2014年6月27日
大太平洋金属株式会社
代表取締役社長 佐々木 朗